

## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年2月10日

上場会社名 東京コスモス電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6772 URL <http://www.tocos-j.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩崎 美樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 飯嶋 正明 (TEL) 046-253-2111  
 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	7,157	28.6	741	—	787	—	606	—
2021年3月期第3四半期	5,566	△18.8	△25	—	△90	—	△157	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 733百万円(—%) 2021年3月期第3四半期 △101百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	412.68	—
2021年3月期第3四半期	△101.86	—

四半期連結経営成績に関する注記

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	12,715	4,497	35.4
2021年3月期	13,084	3,947	30.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 4,497百万円 2021年3月期 3,947百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	17.0	700	—	600	197.1	400	—	275.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	1,581,250株	2021年3月期	1,581,250株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	165,614株	2021年3月期	66,009株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	1,469,790株	2021年3月期3Q	1,549,872株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P.2「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(セグメント情報)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は回復基調にあるものの、同時に新型コロナウイルス感染症変異株の感染も拡大しており、予断を許さない状況でありました。中国経済は10～12月期実質GDP成長率が+4.0%と市場予想(+3.3%)を上回ったものの、新型コロナウイルス感染症変異株の感染拡大が懸念され、先行きに不安を残しつつ推移いたしました。

米国も消費の構造変化により、総じて回復方向にありましたが、インフレ、新型コロナウイルス感染症変異株の感染拡大の勢いは治まらず、経済政策も有効に働かない状況で推移いたしました。日本経済は新型コロナウイルス感染症の一時的な鎮静化により景気の持ち直しが見られたものの、原材料価格の高騰、半導体の供給不足に加え新型コロナウイルス感染症変異株の感染拡大が懸念されるなど、先行きが不透明のまま推移いたしました。当社グループの属する電子部品業界におきましては、原材料価格の高騰、半導体の供給不足の影響を受けつつも自動車関連を中心に堅調に推移いたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の変異株感染の拡大懸念もあり、不透明な状況が続いております。

このような情勢下、当社グループは10～12月において可変抵抗器及び車載用電装部品がともに堅調に推移し、売上高は7,157百万円（前年同四半期比28.6%増）となりました。

利益面では、各子会社の稼働状況も改善し、収益向上に大きく貢献したため、営業利益は741百万円（前年同四半期は営業損失25百万円）となりました。また、為替差益31百万円などを計上したため、経常利益は787百万円（前年同四半期は90百万円の損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は606百万円（前年同四半期は157百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ368百万円減少し12,715百万円となりました。流動資産は前連結会計年度に比べて42百万円増加し7,719百万円となりました。主な要因は、棚卸資産が227百万円増加し、現金及び預金が200百万円減少したことによるものであります。固定資産は、411百万円減少し4,995百万円となりました。主な要因は有形固定資産が225百万円、その他に含まれる繰延税金資産78百万円、保険積立金42百万円がそれぞれ減少したことによるものであります。有形固定資産は減価償却の進捗に比して新規設備の増加が少なかったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ918百万円減少し8,217百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べて409百万円減少し4,286百万円となりました。主な要因は、短期有利子負債が351百万円、未払費用が99百万円、それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて509百万円減少し3,931百万円となりました。主な要因は、長期有利子負債286百万円、退職給付に係る負債228百万円がそれぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて549百万円増加し4,497百万円となりました。主な要因は、配当に伴う利益剰余金30百万円の減少と、親会社株主に帰属する四半期純利益606百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年11月11日に公表しました予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,097,204	2,897,142
受取手形及び売掛金	1,935,644	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,028,009
電子記録債権	658,989	747,362
商品及び製品	664,082	711,683
仕掛品	318,750	359,372
原材料及び貯蔵品	677,034	816,183
その他	331,913	169,177
貸倒引当金	△6,164	△9,197
流動資産合計	7,677,454	7,719,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,206,332	1,151,039
機械装置及び運搬具（純額）	863,631	894,696
土地	1,715,871	1,715,871
その他（純額）	732,972	532,087
有形固定資産合計	4,518,807	4,293,694
無形固定資産		
リース資産	197,134	160,926
その他	40,632	36,312
無形固定資産合計	237,767	197,238
投資その他の資産	650,002	504,505
固定資産合計	5,406,576	4,995,438
資産合計	13,084,031	12,715,172
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	645,159	669,897
電子記録債務	608,811	574,484
短期借入金	1,902,000	1,675,000
1年内返済予定の長期借入金	711,580	579,869
未払法人税等	69,132	78,031
賞与引当金	107,001	100,661
役員賞与引当金	—	40,000
その他	651,351	568,074
流動負債合計	4,695,036	4,286,018
固定負債		
長期借入金	2,617,164	2,446,731
役員退職慰労引当金	29,284	6,723
退職給付に係る負債	827,099	598,997
長期未払金	—	27,499
再評価に係る繰延税金負債	314,794	314,794
その他	653,408	537,222
固定負債合計	4,441,750	3,931,968
負債合計	9,136,786	8,217,986

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,277,000	1,277,000
利益剰余金	1,960,587	2,536,828
自己株式	△78,497	△231,588
株主資本合計	3,159,089	3,582,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,803	68,496
土地再評価差額金	734,519	734,519
為替換算調整勘定	△7,099	108,494
退職給付に係る調整累計額	△4,067	3,435
その他の包括利益累計額合計	788,155	914,945
純資産合計	3,947,245	4,497,186
負債純資産合計	13,084,031	12,715,172

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	5,566,781	7,157,599
売上原価	4,592,254	5,430,970
売上総利益	974,527	1,726,628
販売費及び一般管理費	1,000,009	985,352
営業利益又は営業損失(△)	△25,482	741,275
営業外収益		
受取利息	836	788
受取配当金	8,210	9,000
為替差益	—	31,130
受取手数料	—	9,090
補助金収入	15,678	—
その他	39,257	35,933
営業外収益合計	63,983	85,943
営業外費用		
支払利息	28,375	37,123
為替差損	64,426	—
製品補償損失	23,639	—
その他	12,717	3,067
営業外費用合計	129,158	40,190
経常利益又は経常損失(△)	△90,658	787,029
特別利益		
固定資産売却益	—	2,856
投資有価証券売却益	434	11,156
助成金等収入	83,174	24,371
特別利益合計	83,609	38,384
特別損失		
固定資産除売却損	1,655	1,764
投資有価証券売却損	49	50
臨時休業等による損失	79,989	25,513
特別損失合計	81,694	27,328
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△88,743	798,085
法人税、住民税及び事業税	51,109	117,763
法人税等調整額	18,012	73,775
法人税等合計	69,122	191,539
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△157,865	606,546
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△157,865	606,546

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△157,865	606,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,561	3,693
為替換算調整勘定	23,981	115,593
退職給付に係る調整額	9,700	7,502
その他の包括利益合計	56,242	126,789
四半期包括利益	△101,622	733,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,622	733,336



### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、一部の売上高について一時点で売上を計上してはりましたが、一定の期間にわたって計上する方法に変更等しております。また、従来、販売費及び一般管理費に計上してはりましたが販売手数料等の顧客に支払われる対価の一部について、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用してはなりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であり、また、利益剰余金の当期首残高に反映されるべき累積的影響額ははありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行ってはなりません。また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載してはなりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結累計期間等に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,479,132	2,958,441	5,437,573	129,208	5,566,781	—	5,566,781
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,479,132	2,958,441	5,437,573	129,208	5,566,781	—	5,566,781
セグメント利益	359,567	65,054	424,621	18,621	443,243	△468,725	△25,482

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△468,725千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
一時点で移転される財	3,349,417	3,607,435	6,956,853	200,746	7,157,599	—	7,157,599
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	3,349,417	3,607,435	6,956,853	200,746	7,157,599	—	7,157,599
外部顧客への売上高	3,349,417	3,607,435	6,956,853	200,746	7,157,599	—	7,157,599
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,349,417	3,607,435	6,956,853	200,746	7,157,599	—	7,157,599
セグメント利益	800,254	348,230	1,148,484	47,577	1,196,062	△454,786	741,275

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△454,786千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識に関する会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更した為、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告区分に基づき作成したものを開示しております。